

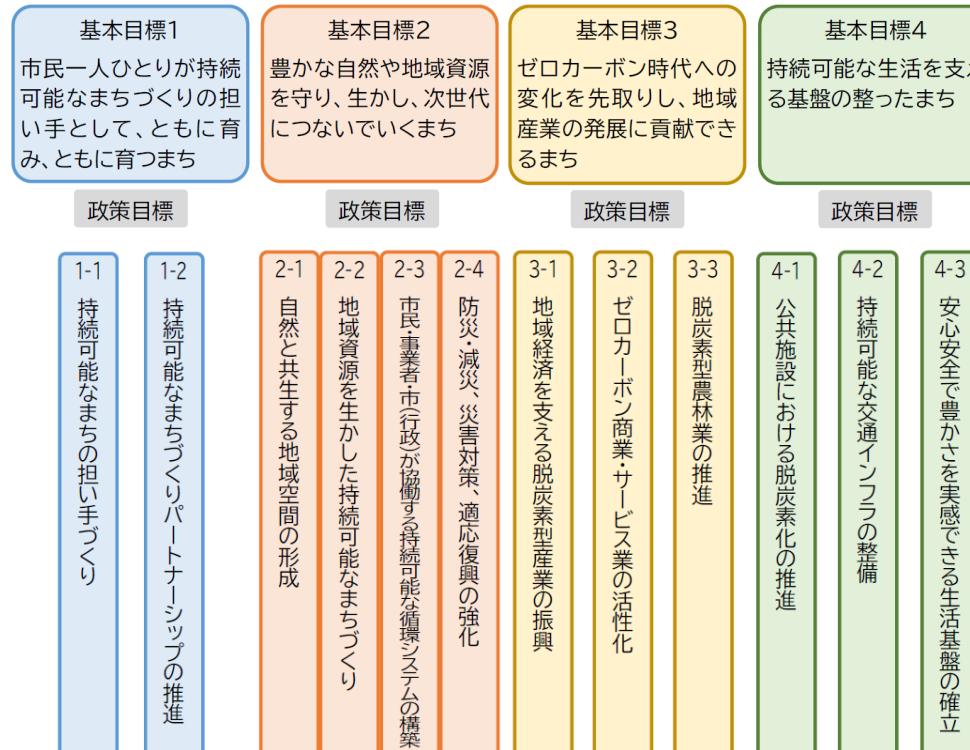
福知山市エネルギー・環境基本計画 (区域施策編)の進捗について

2026(R08)年1月13日
福知山市環境審議会

エネルギー・環境基本計画基本目標

智恵を活かした賢い選択。明るい光で、秀てるまちに。

～環境問題への取組と経済活性化の好循環により、
持続可能で誇りあるまちづくりを進め、豊かな自然を次世代に引き継ぐ～



◇◆脱炭素の推進とエネルギー・ビジョン◆◇

エネルギー・ビジョンの方針及び基本的な考え方

脱炭素シナリオの設定

エネルギー・ビジョンの具体的な展開例

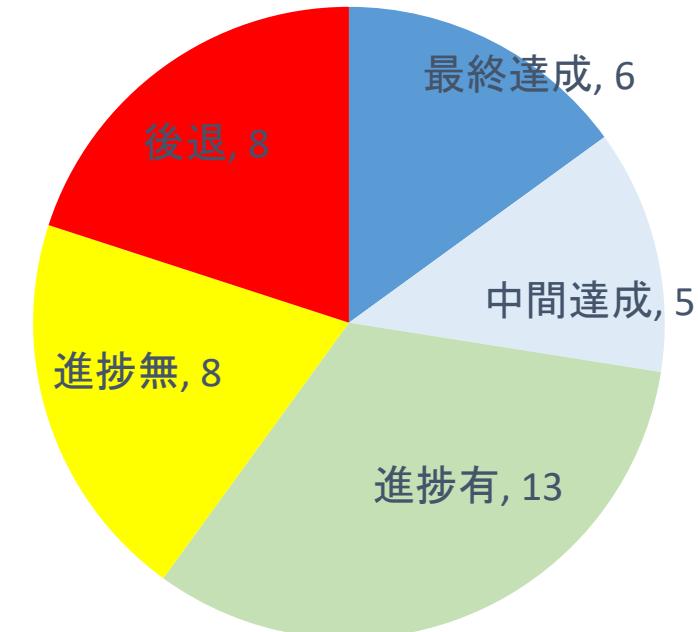
エネルギー・環境基本計画成果指標の捕捉

■既に最終目標を達成している成果指標が6項目、中間目標を達成しているのが5項目となっており、全40項目のうち24項目が進捗有となっている。一方で進捗無もしくは後退している指標が16項目となっており、進捗状況に差が出ている。

計画期間:2023(R05)年度～2032(R14)年度

成果指標数:40

達成状況	指標数
最終目標を達成済 3,4,5,16,23,39	6
中間目標を達成済 8,19,20,24,25	5
現状値から進捗有 1,2,6,7,9,10,13,14,17,31,32,34,36	13
現状値から進捗無 15,18,21,22,27,29,33,37	8
現状値から後退 11,12,26,28,30,35,38,40	8



※令和6年度末時点で捕捉

最終目標:2032(R14)年度、中間目標:2027(R09)年度、現状値:2022(R04)年度捕捉

エネルギー・環境基本計画成果指標の捕捉

■基本目標1:市民一人ひとりが持続可能なまちづくりの担い手として、 ともに育み、ともに育つまち

	指標	現状値	2023(R05)年度末 捕捉実績	2024(R06)年度末 捕捉実績	中間目標	最終目標	2024(R06)年度末捕捉数値の要因
1	SDGs・環境に関するセミナー、ディスカッションへの参加者数（人）	—	152	98	100	300	2023(R05)年に開催した連続セミナーが2024(R06)は開催できなかったので、減少となった。
2	福知山市SDGsパートナー登録件数（件）	43	54	56	120	195	福知山市持続可能なエネルギー・環境共創プラットフォーム（以下「プラットフォーム」という。）への入会と併せて広報していく必要がある。
3	「バックキャスト思考」を身につけるSDGsや環境に関する学習を実施した学校数（全校継続実施）(校)	23	23	23	23	23	計画期間当初から引き続き全校で実施。
4	持続可能なまちづくりに関する学習教材等を活用した学校数（校）	14	23	23	18	23	2023(R05)年の環境配慮型給食食器の導入から継続して実施。
5	持続可能なまちづくりに関するプラットフォーム参加団体数（団体）	—	33（準備会）	52	10	30	2024(R06)年12月にプラットフォームを設立し、設立のタイミングで50者を超える参画があった。
6	持続可能なまちづくりに関する事業のうち事業化支援（インキュベーション）を実施した件数（件）	3	5	5	10	20	①(株)Season 万願寺成就あめ ②(株)西田工業 ブラネットシェアハウス ③(株)アルヴェアーレ バスアメニティ ④(一社)NEXT福知山 学生記者部 ⑤(株)Lifexia ふるさと納税活性化事業
7	地域エネルギー事業体による実事業件数（件）	—	7	7	10	30	補助金スケジュールと候補施設のスケジュールがあわず、実施を断念した。

■最終目標達成 ■中間目標達成 ■現状値から進捗有 ■現状値から進捗無 ■現状値から後退

最終目標:2032(R14)年度、中間目標:2027(R09)年度、現状値:2022(R04)年度捕捉

エネルギー・環境基本計画成果指標の捕捉

■基本目標2:豊かな自然や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち

	指標	現状値	2023(R05)年度末 捕捉実績	2024(R06)年度末 捕捉実績	中間目標	最終目標	捕捉数値の要因
8	千年の森づくりポータルサイトのアクセス数（件）	未開設	未開設	開設 (アクセス : 136件)	開設	件数増	2024(R06)年度に予定通りホームページを開設。 情報発信を行うことで幅広い方に三岳・大江山連峰の魅力を知つていただけた。
9	自然環境の保全・活用事業の参加者数（人）	859	1350	1211	1,300	1,600	環境会議解散予定であったことから取組数、参加者の減少となつたが、トレインランの参加者が増加傾向となっている。
10	自然環境の保全・活用事業に初めて参加した人数（人）	—	139	71	400	500	初参加かどうかの確認ができていない活動がある。
11	エネルギー自給率（%）	12.5	11.4	11.8	30.6	42.8	国から2年遅れで公表される数値で判定。 住宅用太陽光発電の設置件数の増加やPPAの導入で、前年度と比較すると改善だが、現状値からは低下している。 2020(R02)年度から2021(R03)年度にかけて地産再エネ発電施設が撤退されたことが要因。
12	地産再生可能エネルギーの発電量（MWh）	67,407	61,509	64,512	164,733	222,076	環境省への申請事業が採択となれば、再エネ発電設備の導入が大きく前進することを見込んでいる。
13	住宅用太陽光発電の設置件数（件）	1,656	2,034	2,236	2,800	3,800	光熱費の高騰に加え、防災の観点からも導入が進んでいる。年間200件を超えるペースで増加しており、このペースを維持すれば、中間、最終目標達成が可能。
14	温室効果ガスの排出削減率（%）	24.3	32.9	29.4	41	53.2	前年度と比較すると悪化。国から2年遅れで公表される数値で判定。2024(R06)年度数値は2022(R04)年度時点のものであり、卸売・小売業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉業が主な排出源となる「業務その他部門」の数値が上昇していることから、コロナ禍後の経済活動の復調が要因と考えられる。
15	金融機関と連携した省エネリフォーム、設備導入に係る融資件数（件）	—	0	0	導入	件数増	設備更新に関する融資利息を補助する市の制度があり、補助対象の中には、省エネが最たる目的ではないものの、副次的に効果を得られるケースがある。企業向け相談・アドバイスが実施されており、省エネへの関心が伺える。
16	1人あたりのごみ排出量（g／人日）	529.9	510.8	496.6	511.4	503.5	市民・事業者の皆様のご協力により、家庭ごみ・事業系一般ごみの排出量が減少した。
17	資源化率（%）	16.2	24.0	22.7	27.8	28.9	集団回収による資源ゴミ収集量が減少したことなどから、前年度より資源化率は減少したが、資源化目標はほぼ達成している。
18	防災重点農業用ため池における防災工事実施累計箇所数（箇所）	23	23	23	25	27	計画に沿って進めており、現時点で進捗はないが、中間・最終目標とともに達成見込である。

■最終目標達成

■中間目標達成

■現状値から進捗有

■現状値から進捗無

■現状値から後退

エネルギー・環境基本計画成果指標の捕捉

■基本目標3:ゼロカーボン時代への変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

	指標	現状値	2023(R05)年度末 捕捉実績	2024(R06)年度末 捕捉実績	中間目標	最終目標	捕捉数値の要因
19	RE Action、SBT加入企業数	0	28	28	10	30	福知山市役所のほか、市内に支店、営業所、工場等を有する企業・団体がRE Actionに3者、SBTに24社参加している。
20	再エネ事業における市民出資の累計実施件数（件）	1	7	7	7	12	2021(R03)年から継続してきたオンラインPPAの新規導入がなかったことによる。
21	グリーンボンド発行額	—	0	0	発行	増額	発行自治体である京都市等を参考に引き続き検討する。
22	移行に関する教育・研修実施者数（人）	0	0	0	80	100	既存の産業の強化、持続可能なまちづくりに資する産業の強化に取り組んでいる。京都府の水素実証事業に連携して取り組むことで移行に関する教育に繋がる。
23	企業向け相談・アドバイス実施件数（件）	1	40	32	11	26	福知山市商工会：5件 福知山商工会議所：27件
24	宿泊施設での再エネ電気利用施設数（件）	4	3	5	5	8	市内宿泊施設に聞き取りを実施。 2023(R05)年から2件増加。
25	宿泊施設におけるEV充電設備設置数（件）	4	4	5	5	8	市内宿泊施設に聞き取りを実施。 2023(R05)年から1件増加。
26	環境保全型農業直接支払交付事業取組面積（ha）	78	82	74	89	100	事業の組み替えにより、水田中干しが別補助金となったことから捕捉対象外になり、数値が減少している。取組面積の純粋な現象ではなく、捕捉方法による減少である。
27	有機JAS認証取得農業者数（経営体）	2	2	2	11	20	チャレンジした事業者はあったが、認証には至らず。引き続き支援を行う。
28	森林整備面積（造林面積と間伐面積の合計（単年度））（ha）	180.58	141.32	141.15	221.00	269.52	林業労働者の定年退職等による減少後、概ね横ばいで推移しており、森林整備面積も著変なく推移。循環型森林整備推進による造林整備面積増加を図りたい。
29	林業経営体数（個人・法人合計）（経営体）	67	67	67	82	100	出典が国勢調査であり、2025(R07)年度調査結果により更新予定。前回国勢調査の林業就業者の推移をみると府全体では減少傾向であったが、本市は微増となっていた。定年退職等減少が予測される要因はあるので、林業労働者の就労環境改善に関する支援や新たな林業の担い手の掘り起しを引き続き実施する。

■最終目標達成 ■中間目標達成 ■現状値から進捗有 ■現状値から進捗無 ■現状値から後退

最終目標:2032(R14)年度、中間目標:2027(R09)年度、現状値:2022(R04)年度捕捉

エネルギー・環境基本計画成果指標の捕捉

■基本目標4:持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

	指標	現状値	2023(R05)年度末 捕捉実績	2024(R06)年度末 捕捉実績	中間目標	最終目標	捕捉数値の要因
30	公共施設のエネルギー消費量 (MWh)	34,953	38,143	38,070	33,206	31,758	捕捉方法の錯誤により、現状値より数値が増加している。2025(R07)年度から第2期公共施設マネジメント基本計画で、公共施設の最適化を進めるとしており、今後、公共施設の機能集約や適正配置を進めていく。また公共施設の維持管理と併せて脱炭素化に取り組むとしており、省エネ機器の導入も進めしていく。
31	公共施設の再エネ利用率 (%)	16.5	20.0	23.4	50.0	100.0	高圧電力使用施設の切替を順次進めており、2024(R06)年度に環境パークを切替済み。
32	公共施設における太陽光発電の設置件数 (件)	11	15	19	25	40	オンサイトPPAに加え、避難所施設にも導入が進んでいる。
33	公共施設における地域材利用数 (率)	新たに京都府が策定する方針に合わせて、個別に設定します。					京都府の方針は、数値目標を設定しているが、市では改修する公共施設の全体数が少なく、市の方針では数値目標の設定をしないこととした。府方針に即して公共施設での府産木材の利用促進の方針を示している。
34	公共交通（路線バス・タクシー）の環境配慮型化割合 (%)	31.6	34.0	37.0	43.0	100.0	タクシー車両更新時にハイブリッド車が選ばれる傾向が高まっており、前年に引き続き上昇している。
35	市民1人あたりの路線バスの年間利用回数 (回)	6.7	5.4	5.3	7.0	7.0	減少傾向であるが、前年比較では横ばい。園児を対象にバスの乗り方教室を開催。期間限定の無料乗車券を配布し、園児と保護者にバスに慣れ親しんでいただく機会を設けた。
36	公共施設におけるV2B（EV充放電設備）導入数 (件)	2	6	6	10	30	全てオンサイトPPA実施時に設置しているので、オンサイトPPAと同様に増減なしとなった。
37	ソーラーカーポート導入件数 (件)	—	0	—	10	30	捕捉方法の見直しを検討する必要がある。
38	ZEH新築着工件数 (件)	20	15 (令和4年度 補助金)	—	50	100	市内ZEHビルダーへのヒアリング等、捕捉方法の見直しを検討する必要がある。
39	事業所の公害苦情発生件数 (大気・臭気・騒音) (件)	16	騒音関連 3 臭気関連 1 <合計 4>	大気関連 1 騒音関連 1 臭気関連 4 <合計 6>	13	10	対前年比では件数増となつたが、市内事業者のご尽力により公害苦情件数は低い値となっている。
40	資源ごみ集団回収登録団体数 (団体)	94	75	74	104	114	地域の高齢化により登録団体数が減少したが、資源化目標はほぼ達成見込み。

■ 最終目標達成

■ 中間目標達成

■ 現状値から進捗有

■ 現状値から進捗無

■ 現状値から後退

最終目標:2032(R14)年度、中間目標:2027(R09)年度、現状値:2022(R04)年度捕捉